

地域と共にある学校

～『子育て総合支援型学校』の早期実現に向けて～



令和7年12月23日 白南地区コミ協連絡会

白南地区からの請願

- ①小中一貫校の早期開校
- ②子育て総合支援型学校の実現

【請願1】 早期開校(令和11年度)

〔背景〕

- ① 想定を超えた急速な少子化の進行
- ② 複式学級の増加による教職員定数の削減
- ③ 教育環境の著しい悪化(集団学習・人間関係形成の困難)
- ④ 不登校傾向の児童生徒の増加
- ⑤ 保護者の教育・生活両面での不安感の高まり
- ⑥ 子育て世代の地域離れの進行
- ⑦ 地域社会の活力低下・衰退の加速
- ⑧ 上記①～⑦の要因が連鎖的に進行している現状

これらの問題は、もはや現行の学校体制の中では解消が難しく、抜本的な教育環境の再構築が不可欠です。白南地区の将来を左右する学校再編の早期実現こそが、地域の再生と持続可能な発展の鍵であります。

○新飯田小・茨菅根小・庄瀬小／白南中															
実数値			▶ 推計値												
校名	学年	令和7年度		8		9		10		11		12		13	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
新飯田	1	9	1	5	1	8	1	8	1	6	1	6	1	2	1
	2	8	1	9	1	5	1	8	1	8	1	6	1	6	1
	3	8	1	8	1	9	1	5	1	8	1	8	1	6	1
	4	4	1	8	1	8	1	9	1	5	1	8	1	8	1
	5	11	1	4	1	8	1	8	1	9	1	5	1	8	1
	6	8	1	11	1	4	1	8	1	8	1	9	1	5	1
計	48	4	45	4	42	4	46	4	44	4	42	4	35	3	
茨菅根	1	6	1	9	1	8	1	7	1	2	1	2	1	3	1
	2	12	1	6	1	9	1	8	1	7	1	2	1	2	1
	3	10	1	12	1	6	1	9	1	8	1	7	1	2	1
	4	16	1	10	1	12	1	6	1	9	1	8	1	7	1
	5	11	1	16	1	10	1	12	1	6	1	9	1	8	1
	6	18	1	11	1	16	1	10	1	12	1	6	1	9	1
計	73	6	64	6	61	6	52	5	44	4	34	3	31	4	
庄瀬	1	9	1	13	1	6	1	6	1	8	1	1	1	7	1
	2	11	1	9	1	13	1	6	1	6	1	8	1	1	1
	3	10	1	11	1	9	1	13	1	6	1	6	1	8	1
	4	13	1	10	1	11	1	9	1	13	1	6	1	6	1
	5	10	1	13	1	10	1	11	1	9	1	13	1	6	1
	6	11	1	10	1	13	1	10	1	11	1	9	1	13	1
計	64	6	66	6	62	6	55	6	53	5	43	5	41	4	
校名	学年	令和7年度		8		9		10		11		12		13	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
白南	1	40	1	37	1	32	1	33	1	28	1	31	1	24	1
	2	38	1	40	1	37	1	32	1	33	1	28	1	31	1
	3	39	1	38	1	40	1	37	1	32	1	33	1	28	1
計		117	3	115	3	109	3	102	3	93	3	92	3	83	

【請願2】子育て総合支援拠点としての新しい学校像の実現 (小中一貫校と放課後児童クラブ・児童館の複合施設化)

【背景】

- ① コミュニティ・スクールモデル地区としての6年間の実績（R5 文科大臣表彰）
- ② 子育て支援を中核に据えた新飯田・茨曾根・庄瀬の3地域の団結
- ③ 「白南未来図」による新しい学校像と、

それを核として発展する新しい地域像の創造・提案

白南地区は、単なる学校再編ではなく、地域ぐるみで子どもを育て、家庭・学校・地域が一体となって未来を築く「子育て総合支援型学校」の実現を目指しています。これは、新潟市が掲げる「地域とともにある学校づくり」に合致するモデルケースであり、将来の市全体の教育行政に資する先駆的な取り組みになると確信いたします。

白南地区における 子育て総合支援型学校の必要性

- 小・中学校＋放課後児童クラブ＋児童館 複合施設

コミ連配付資料「12月23日検討会再開に向けた意見及び提案」同 添付資料」参照

白南地区の課題① 地域特性

- 子ども数は少ないが、面積は広い
- 移動負担が大きい
- 子どもの居場所づくりが困難

白南地区の課題② 成長環境

- 異学年・多集団との接触機会が少ない
- 社会性・対人経験が限定的

白南地区の課題③ 家庭負担

- 共働き世帯が多く母親負担が大
- 三世帯同居による育児方針の不一致

白南地区の課題 ④ 子どもの不安定さ

- 同学年人数が少なく関係が固定化
- 不登校傾向児童生徒 約**20**名

課題の本質

- ① 居場所の選択肢不足
- ② 成長機会（異年齢・多集団）の不足

解決策：子育て総合支援型学校

- 学校敷地内に
放課後児童クラブ＋児童館機能を複合

期待される効果① 安全・安心

- 移動リスク軽減
- 保護者の安心感向上

期待される効果② 成長支援

- 複数の居場所確保
- 社会性・心理的安全性向上

期待される効果③ 家庭支援

- 共働き家庭の負担軽減
- 育児相談・支援につながる

不登校対策としての有効性

- 学校外の安心できる居場所
- 児童館×学童の相乗効果

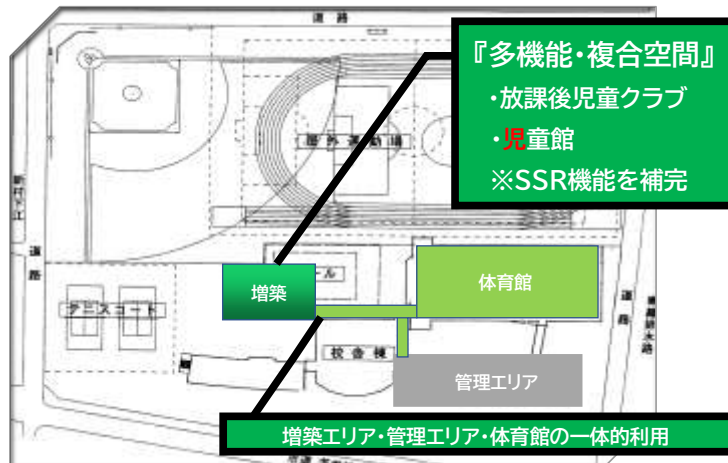
今、整備すべき理由

- 学校再編という好機
- 学童設置の方向性あり
- 南区特性に最適なモデル

まとめ

- 子育て総合支援型学校は
白南地区の持続可能な未来への投資

『多機能・複合空間』の提案



白南未来図作成理念

～中学校区を単位とする**4つ**のミッションの**一体的**な推進～

『住民全てのウェルビーイング(幸福感)の向上を目指して』



白南地区は、単なる学校再編ではなく、
地域ぐるみで子どもを育て、家庭・学校・
地域が一体となって未来を築く「子育て
総合支援型学校」の実現を目指していま
す。